



シリーズがん予防②

胃がん・大腸がん検診

【問合せ】保健課

☎77316811

胃がんとは

胃がんは、胃壁の内側にある粘膜にできるがんです。喫煙や塩分の多い食品の摂取など、生活習慣によって胃がんの発生率が高まるといわれています。日本人に最も多いがんで、罹患率は男性1位、女性3位です。がんの部位別死亡率は、男性2位、女性4位です。

胃がんの症状

胃が重たく感じる、食欲不振、おう吐、下痢、便秘、黒い便などの症状が出てきます。

大腸がんとは

大腸がんは、大腸（結腸、直腸）にできるがんです。近年、食生活の欧米化により急増しています。大腸がんによる死亡率は、男性が3位、女性が1位と上位を占めています。

大腸がんの症状

進行すると、腹痛や出血、便秘、下痢、便が細くなる、残便感などの症状が出てきます。

胃がん・大腸がん検診は何をするの？

胃がん検診では、胃X線（レントゲン）検査を行います。発泡剤で胃を膨らませ、バリウムを含む造影剤を飲んで体を動かし、胃の粘膜全体に造影剤を行き渡らせながらX線を連続的に照射し、撮影します。X線検査の前には、食事や飲料の制限があります。

大腸がん検診では、便潜血検査を行います。便を採取し、血液が混ざっているか検査します。**がん検診で要精密検査の結果がきたら受診した方がいい？**

早めに医療機関で精密検査を受けましょう。精密検査を受診しなければ、検診を受けた意味もなくなりません。精密検査によってがんが発症していないことがわかれば安心できます。もしもがんが発症していた場合には、早期に治療が開始できます。

胃がん・大腸がんの精密検査では、内視鏡検査を行います。先端に小型カメラを搭載した細長い管を、胃がん検査では口か鼻から、大腸がん検査では肛門から挿入し、胃や大腸などの消化管を観察します。

どちらのがんも診断方法と治療方法が向上し、早期発見により治癒率が上がりました。

検診は何歳から受けられる？

国の指針に基づき、市の胃がん・大腸がん検診は、40歳以上が対象です。

自覚症状がある場合や心配な場合は、年齢や検診時期に関わらず、早めに医療機関を受診し、医師に相談しましょう。

市の胃がん・大腸がん検診結果

(年度)	胃がん検診			大腸がん検診		
	27	28	29	27	28	29
受診者数	3,775	3,879	3,768	6,857	6,883	6,568
要精密検査者数	112	111	147	451	476	456
精密検査受診率	94.6	88.2	85.7	77.6	78.2	81.8
がん発見数	1	1	3	17	20	13

胃がん・大腸がん検診の費用は？

胃がん検診は、1,000円、大腸がん検診は、500円です。75歳以上は、無料です。

市ではがん検診を実施中です。がん検診の申し込みは、保健課まで。

1122511の総合相談室

【問合せ・申込み】南魚沼地域振興局 健康福祉環境部 地域保健課（担当・清水）

☎77218137

「食欲がわかない・眠れない」「借金が多くなって生活できない」「子どもなど家族のことで悩んでいる」「介護のことで悩んでいる」「なかなか仕事が見つからない」などの悩みを持つ人とその家族を対象に、精神科の医師や弁護士、ハローワーク職員などの専門家が相談に応じます。秘密は守られます。一人で悩まずに、ぜひご相談ください。

日時 9月3日(月)

午後2時～4時

会場 中央公民館（市民会館内）

費用 無料

申込み 事前予約が必要

締切り 8月22日(水)

※10月2日(火)に相談会を魚沼市で開催します。詳しくは、魚沼市市民相談センター（☎025179218844）へお問い合わせください